注記

Ⅰ．　重要な会計方針

1　　固定資産の減価償却の方法

(1)　有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建物	6～50年
構築物	7～60年
機械及び装置	5～17年

(2)　無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

2　　引当金の計上方法

(1)　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

(2)　賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給（支払）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

(3)　修繕準備引当金

令和2年3月31日において計上されている額について、従前の例により取り崩す額を計上している。

3　　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式による。

Ⅱ．　セグメント情報の開示

1　　報告セグメントの概要

施設管理事業会計は、格納庫事業、賃貸ビル事業及びゴルフ場事業を運営しており、群馬県企業局財務規程に定める区分に基づき、これら３つを報告セグメントとしている。
なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
格納庫事業	群馬ヘリポート格納庫の管理運営
賃貸ビル事業	公社総合ビルの管理運営及びその附帯事業
ゴルフ場事業	ゴルフ場施設の管理運営及びその附帯事業

2　　報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自　平成31年 4月 1日　至　令和 2年 3月31日）　　（単位：円）

	格納庫事業	賃貸ビル事業	ゴルフ場事業	合計
営業収益	34,812,010	131,981,252	564,182,357	730,975,619
営業費用	16,289,195	152,422,878	527,782,153	696,494,226
営業損益	18,522,815	△ 20,441,626	36,400,204	34,481,393
経常損益	18,522,815	△ 16,281,319	36,609,255	38,850,751
セグメント資産	468,075,000	1,505,948,052	7,006,382,829	8,980,405,881
セグメント負債	66,316,823	136,869,966	1,395,045,205	1,598,231,994
その他の項目				
減価償却費	11,805,441	56,037,369	119,869,253	187,712,063
有形固定資産及び無形固定資産増加額	―	37,045,400	119,622,490	156,667,890

Ⅲ.　その他

1　他会計の残余財産の承継について

群馬県駐車場事業会計の貸借対照表平成30年度期末残高を当年度本事業会計の期首残高に承継した。なお、承継した固定資産は、平成31年4月1日をもって高崎市に譲与した。

2　退職給付引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、退職手当として24,245,730円を支給するため、退職給付引当金24,245,730円を使用した。

3　修繕準備引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、群馬ヘリポート格納庫屋根修繕工事等に係る費用36,303,000円を支出するため、修繕準備引当金36,303,000円を使用した。